

石材特集 1: 石材利用と日本のみかげ

口 絵

日本のみかげ……………石原 舜三・濡木 輝一

石材利用の歴史とジャパンストンフェア '91 ……柘植 英雄・6

世界をまわる石材の旅……………山岸 良隆・10

ポルトガルの石材産地について……………吉田 元・15

石材としての花崗岩の採掘……………河野 雅英・18

日本のみかげ石産地について……………中江 勁・22

阿武隈山地のみかげと黒みかげ……………久保 和也・28

稲田みかげ……………笹田 政克・34

万成石……………濡木 輝一・41

岡崎みかげ—領家帯の両雲母花崗岩……………佐藤 興平・仲井 豊・46

庵治石: その利用の歴史と地質的背景……………石原 舜三・60

学会掲示板……………68

表 紙

国会議事堂: 新都庁の知事室がいま話題である。もっと豪華な石の建物が今から55年前、全て国産の石材、25,500トンの花崗岩と、35種に及ぶ大理石を使って作られた。今の国会議事堂、当時の帝国議会議事堂である。明治19年(1886年)内閣に臨時建築局を設けて以来、全国的に石材調査が行われた。最終的には本館の腰まわりには山口県徳山沖の黒髪島の黒雲母花崗岩である黒髪石が、2階以上の外装用には広島県倉橋島納のピンク系黒雲母花崗岩が選ばれた。以後、この石は議院石と呼ばれた。完成は昭和11年(1936年)、調査開始以降、実に50年の歳月を要している(撮影:浅川 敏,提供:ストーンテリア;文:石原舜三)。

通商産業省 工業技術院 **地質調査所**

〒305 茨城県つくば市東1-1-3

Tel. 0298-54-3520, Fax. 0298-54-3533

Geological Survey of Japan